

科目名		医学英語			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年		必須・選択	必須

〔授業の目的・ねらい〕

この授業では、これまでの英会話と英語読解の授業で学んだスキルと語彙を組み合わせ、症状や病状についてより深く探究し、より医療現場に特化した表現を学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

総合医学英語テキストを使用し、グループワーク、グループディスカッション、ディベート、医療会話などのアクティビティーを行う。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

海外研修や、専門分野へ進む時に備え、英語理解力やコミュニケーションスキルを養う。医学用語の知識を英語で取得するとともに、診断、患者や同僚に対する医療的な説明方法を習得する。医療の現場でどのように英語でコミュニケーションを取っていくかを学ぶ。

回数	講義内容
1	EMP, L. 1.1, pp. 2-5, 発熱、体調について尋ねる
2	EMP, L. 1.2, pp. 6-11, 発熱及び医学全般に関する用語、リーディング
3	EMP, L. 2, pp. 14-18, 貧血、病歴について尋ねる
4	EMP, L. 3, pp. 26-29, 脱水症、症状について尋ねる
5	EMP, L. 4, pp. 36-40, 肥満、食生活について
6	EMP, L. 5, pp. 48-51, 頭痛や痛みの種類、頻度について
7	EMP, L. 6, pp. 60-63, 胸痛、心、血管系疾患に関する用語
8	EMP, L. 7, pp. 72-75, 咳嗽、循環器の働き
9	EMP, L. 8, pp. 84-87, 腹痛と検査
10	EMP, L. 9.1, pp. 96-101, 嚥下障害と顎顔面検査
11	EMP, L. 9.2, pp. 102-105, 誤嚥に関する用語
12	EMP, L. 10.1, pp. 108-112, 聴力障害・難聴、聴力検査
13	EMP, L. 10.2, 113-118, 聴力障害・難聴に関する用語
14	EMP, L. 11, pp. 120-124, 骨折と筋骨格に関する用語
15	学期末総復習

【 準備学習・時間外学習 】

予習:授業前に、該当レッスンのページを読んでおくこと。
復習:学んだ項目の復習をすること。

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
総合医学英語テキスト, Step 1	編集 日本医学英語教育学会	メジカルビュー社

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

試験、100点満点で評価する。